

感染症内科

部長 石田 正之

診療体制

昨年より引き続き中岡大士先生と常勤 2 名体制で診療に当たっています。本年は石田が感染委員会の委員長となり、院内対策チーム (ICT)、抗菌薬適正使用チーム (AST) のトップとなり、病院というマクロの単位から、患者さん一人一人のミクロの単位まで包括的な管理体制を強化しています。引き続き細菌検査室、薬剤部と連携をとりながら、感染症の診療にあたっています。

診療の実際

これまでと同様、感染症の疑い症例、すでに感染症の診断がなされているが、治療経過が思わしくない難治症例、不明熱症例などに対しての院内外でのコンサルト、渡航関連感染症が疑われる外来症例を中心に診療を行っています。

引き続き感染対策委員会や ICT チームとの協力を通じて、院内感染対策にも力を注いでいます。AST (Antimicrobial Stewardship Team) も活動の充実を図っています。

感染症科の専門的トレーニングを受けた、感染症専門医・指導医がいる高知県唯一の学会認定教育施設として質の高い診療を提供しています。

昨年同様感染症学会の蚊媒介感染症専門医医療機関ネットワーク活動において、蚊媒介感染症専門医療機関 (http://www.kansensho.or.jp/mosquito/medical_list.html) に指定されており、専門的な診療を継続している。

本年の特徴といえは、SARS-CoV-2 感染症のひと言につきます。2019 年 12 月に発生した本感染症は瞬く間に世界中に広がり、現在もその脅威が継続している状況です。感染症内科として陽性症例や疑い症例の診療にあたる一方で、院内感染対策チームとして、院内動線の設定、ゾーニング、発熱外来の設置、県内の流行状況に応じた、患者さん受け入れの為に病棟の整備をなどハード面の調整や院内外の研修や講演、一般市民向けの取材などを通じて、ソフト面での啓発・啓蒙も積極的に行った。発熱外来のべ受診患者数は 266 名、当院で SARS-CoV-2 陽性と診断した症例数は 24 例であった。

一方でこれまで同様、院内の感染症関連のコンサルト業務も例年とかわりなく、行っており、本年は、抗菌薬使用に関するコンサルト 721 例、感染症診断・治療に関するコンサルト 68 例に対応を行いました。

教育・研究

感染症診療に必要な不可欠な細菌検査技師、薬剤師とは定期的に、レクチャーや症例検討を行い、お互いの質の向上に努め、引き続き各種資格の取得のための研鑽を積んでいます。本年は SARS-CoV-2 感染症により満足な活動を行う事ができなかった。来年はリモートなど積極的に用いて、感染症教育を行っていきたい。

また学術的な展開としては、引き続き厚労省「成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの構築に関する研究」の研究班に属し、重症感染症の共同研究を継続している。肺炎球菌感染症の病態の解析、新たなワクチン作成のための肺炎球菌感染症患者の病態解析を大学や公的機関と共同研究も引き続き継続している。また本年からは、薬剤耐性菌ナショナルサーベイランスも継続している。本年はこれまで継続して肺炎研究を行ってきた長崎大学との新たな肺炎研究を開始している。今回は高知市を対象として、病院単位から地域単位のより大きな対象での肺炎疫学研究を展開している。

課題

メディカルスタッフの知識、能力は着実に向上し、現場の感染症診療チームとしての活動は着実に広がりを見せている。ただまだまだニーズに対して、マンパワーは不足しており、後進の育成をこれまで以上に積極的に展開していきたい。

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
病棟内で発生した、無莢膜型インフルエンザ菌（NT-Hi）による肺炎のアウトブレイク事例	石田正之 白神実 前野多希 森本瞳 近森幹子 北村龍彦	高知県医師会医学会	8月29日 高知
インフルエンザ感染を契機に健康成人に発症した、外科的搔爬術を要したA群β溶連菌（GAS： <i>S.pyogenes</i> ）による細菌性膿胸の一例	三枝理寛 中岡大士 白神実 石田正之	第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会	11月5日 ～7日 福岡
当院で診断に至ったCOVID-19症例の検討	杉村和律 中岡大士 白神実 石田正之	第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会	11月5日 ～7日 福岡
<i>Shewanella algae</i> （ <i>S. algae</i> ）による特異性細菌性腹膜炎（SBP）の一例	馬場咲歩 中岡大士 白神実 石田正之	第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会	11月5日 ～7日 福岡
ムコイド型肺炎球菌による、市中肺炎、膿胸による侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）の一例	梁瀬瑛蘭 中岡大士 白神実 石田正之	第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会	11月5日 ～7日 福岡
病棟内で発生した、無莢膜型インフルエンザ菌（NT-Hi）による肺炎のアウトブレイク事例	石田正之 白神実 森本瞳 村上光一 鈴木基 北村龍彦	第90回日本感染症学会西日本地方会学術集会	11月5日 ～7日 福岡

講演

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
新型コロナウイルス「COVID-19」について 今わかっている事・すべきこと	石田正之	高知県医師会生涯教育カンファレンス	2月27日 高知
当院で経験した新型コロナウイルス（SARS-CoV2）感染症の3症例	石田正之	高知県新型コロナウイルス感染症Webセミナー	4月24日 高知
With コロナ次に備えるために、今わかっている事	石田正之	高知呼吸器疾患リモート講演会	6月12日 高知
当院の感染症診療・制御について-SARS-CoV-2感染症対策、抗菌薬適正使用を中心に-	石田正之	呼吸器感染症フォーラム in 高知	12月16日 高知

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
Aspiration Pneumonia	Ishida M, Nakaoka H, Morimoto K	Respiratory Diseases Series: Diagnostic Tool and Disease Management	Pp.167- 173
<i>Veillonella parvula</i> が起炎菌となった感染性動脈瘤、腸腰筋膿瘍および椎間板炎の1例	植村里美 中山奈津季 島田 藍 吉田さや佳 吉永詩織 森本瞳 石田正之	こうち	Vol.49 No.1 Pp. 76-82
他院入院中に発症した Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2(SARS-CoV-2)による肺炎の1例	中岡大士 白神実 北村美樹 近 森幹子 北村龍彦 石田正之	日本感染症学会雑誌	Vol.94 No.4 Pp. 549- 552